



関市では、平成8年に生涯学習都市宣言を行い、生涯学習拠点施設である「わかくさ・プラザ」の建設をはじめ、ふれあいセンターの建設、学習者の発表の場である「SEKIいきいきフェスタ」の開催、市民・市職員による出前講座など、市民の皆さまのご協力のもと、生涯学習に関する施策を総合的かつ効果的に推進してまいりました。

しかし、地方分権の流れや市町村合併に伴う学習環境の変化、少子高齢化、高度情報化の急速な進展など、近年の大きな社会変化により、今までの取り組みに加え、あらたな対応が求められています。

このような状況に対応するため、生涯学習に関するアンケート調査や生涯学習活動団体からのご意見、パブリックコメントなどを行い、市民の皆さまのご意見を整理するとともに、関市生涯学習まちづくり計画懇話会のご助言やご提言をいただき、関市の今後10年間の生涯学習施策の基本的な方向性を示す「関市生涯学習まちづくり計画」を策定いたしました。

この計画では、市民の皆さまが自立して、主体的に学習活動を進めることができる環境づくりを進めるとともに、学習により習得した知識や技術などを地域活動に活かすことにより、さらに活力ある地域づくりにつなげていただくことをめざしております。

今後とも、関係部署の連携を図りながら、「関市生涯学習まちづくり計画」を推進してまいりますので、市民の皆さまの一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、計画策定にあたりましてご尽力を賜りました関係各位に対して、心からお礼申し上げます。

平成19年3月

関市長 後藤 昭文